

寄贈図書リスト

重力レンズでさぐる宇宙

福江 純, 山田竜也著, B 6判, 114p, 1,030円, 岩波書店, 読み物

Neutrino Mass, Dark Matter, Gravitational Waves, Monopole Condensation, and Light Cone Quantization

Behram N. Kursunoglu, Stephan L. Mintz and Arnold Perlmutter 著, B 5判, 396p, \$10.00, Plenum Publishing Corporation, 専門書

SF 天文学入門 (上, 下)

福江 純著, 変形 B 6判, 上(178p, 1,442円), 下(208p, 1,545円), 裳華房, 読み物

輪廻する宇宙

江理口良治, 水島信子訳, B 6判, 278p, 2,266円, 丸善, 読み物

宇宙の科学

石田蕙一著, B 6判, 247p, 1,957円, 丸善, 読み物

素粒子と宇宙物理

小早川恵三, A 5判, 338p, 8,755円, 丸善, 教科書

月報だより

は簡易書留でお送り下さい。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

京都大学理学部附属天文台教官

1. 助教授 1名
2. (1) 京都大学理学部附属天文台  
(2) 岐阜県吉城郡上宝村蔵柱 飛驒天文台
3. 太陽物理学分野
4. 太陽物理学を中心とした天文学の観測的教育研究。  
京都大学理学部附属天文台には, 花山天文台と飛驒天文台が属しています。飛驒天文台では, ドームレス太陽望遠鏡による高分解太陽観測を, 現在の重要プロジェクトとして, 推進しています。
5. (1) 決定後, なるべく早い時期
7. (1) 略歴書(2) 研究成果説明書 (これまでの研究成果の概要を説明したものに, 研究論文リストと主要論文別刷を添付すること) (3) 研究計画書
8. 平成9年5月30日(金)必着
9. (1)(2)  
〒607 京都市山科区北花山大峰町  
京都大学理学部附属花山天文台 黒河宏企  
電話: (075) 581-1235  
FAX: (075) 593-9617
10. 封筒の表に「応募書類在中」と朱書し, 郵送の場合

国立天文台教官

1. 光学赤外線天文学分野助手3名
2. (1) a. 光学赤外線天文学・観測システム研究系1名  
b. ハワイ観測所1名  
c. 岡山天体物理観測所1名  
(2) a. 東京都三鷹市  
b. ハワイ島ヒロ市  
c. 岡山天体物理観測所
3. 光学赤外線天文学及び関連分野  
a. すばる望遠鏡の建設にかかわる観測装置の製作, データ取得システム, データ解析ソフトウェアなどの開発研究, 及びすばるを用いた観測的研究に積極的に参画する人  
b. ハワイでのすばる望遠鏡建設と立ち上げ, 及びすばるを用いた観測的研究に積極的に参画する人  
c. 岡山天体物理観測所における次期観測装置等の立案・開発研究, 観測的研究に意欲を持ち, 共同利用の推進に積極的に取り組む人
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了, またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト, 及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, ただし, (5) で複数のポストに応募する場合, それぞれについての研究計画書, (5) 応募する助手ポストを上記 a, b, c により明記のこと, ただし, 希望順位をつけて複数の助手ポストの併記も可, (6) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (7) 他薦の場合には推薦書の他に, 前記事項(1)~(6)の概要がわかる書類
8. 締切: 1997年5月30日必着
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台長 小平桂一  
電話: 0422-34-3650

(2) 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

ハワイ観測所所長 海部宣男

電話：0422-34-3610（三鷹オフィス）

又は

光学赤外線天文学・観測システム研究系主幹

安藤裕康

電話：0422-34-3601

10. 封筒の表に「光学赤外線天文学分野助手人事応募書類在中」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。

## 国立天文台教官

1. 教授 1名
2. (1) 光学赤外線天文学・観測システム研究系  
(2) 東京都三鷹市（近い将来ハワイ勤務もありうる）
3. 光学赤外線天文学及び関連分野  
すばる望遠鏡の建設・組立て調整に積極的に参加し、それに関わる技術的課題を含む開発・研究をリードして、現メンバーと協力しつつ計画の実現・完成に責任を担う教授を求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書、(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要を含む）、(3) 研究論文リスト、及び主要論文別刷、(4) 研究計画書、(5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先、(6) 他薦の場合には推薦書の他に、前記事項(1)～(6)の概要がわかる書類
8. 締切：1997年5月30日 必着
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 小平桂一  
電話：0422-34-3650  
(2) 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
光学赤外線天文学・観測システム研究系主幹  
安藤裕康  
電話：0422-34-3601
10. 封筒の表に「光赤外線教授人事応募書類在中」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。なお、外国籍の方の場合、法令に基づいて任期を定める場合があります。

## 国立天文台教官

1. 助手 1名
2. (1) 電波天文学研究系  
(2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. 4. 電波天文学（宇宙電波）  
電波天文学研究系では、主に45m電波望遠鏡とミリ波干渉計による銀河や星・惑星系形成の観測的研究

および共同利用運用を行いつつ、スペース VLBI 計画やレインボー干渉計（45 m 鏡とミリ波干渉計を結合した高感度干渉計）計画の推進、さらに将来に向けての LMSA（大型ミリ波サブミリ波干渉計）計画の実現に努力しています。今回の公募では、ミリ波干渉計による観測的研究に取組み新しい計画の推進にも意欲的な若手研究者を求めます。

5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リストおよび主要論文別刷（共著の場合はその役割分担）、(4) 研究計画、(5) 自薦の場合は本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先、(6) 他薦の場合は研究計画もわかる内容の推薦書
8. 平成9年 5月30日(金)必着
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 小平桂一  
(2) 〒384-13 長野県南佐久郡南牧村野辺山国立天文台  
電波天文学研究系 石黒正人  
TEL：0267-98-4392  
FAX：0267-98-2884
10. 封筒の表に「電波天文学助手応募書類」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会にて行います。

## 国立天文台教官

1. 教授 1名
2. (1) 電波天文学研究系  
(2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. 4. 電波天文学（宇宙電波）  
電波天文学研究系では、主に45m電波望遠鏡とミリ波干渉計による銀河や星・惑星系形成の観測的研究および共同利用運用を行いつつ、スペース VLBI 計画の推進や、将来計画としての LMSA（大型ミリ波サブミリ波干渉計）計画の実現に努力しています。今回の公募では、LMSA 計画を展望しつつ、サブミリ波天文学の観測技術およびサイエンスを大きく発展させるリーダーシップをとり、共同利用機関としての運営にも積極的に努力する意欲的な研究者を求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リストおよび主要論文別刷（共著の場合はその役割分担）、(4) 研究計画、(5) 自薦の場合は本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先、(6) 他薦の場合は研究計画もわかる内容の推薦書
8. 平成9年5月30日(金)必着
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台長 小平桂一

(2) 〒 384-13 長野県南佐久郡南牧村野辺山国立天文台  
電波天文学研究系 石黒正人

TEL : 0267-98-4392

FAX : 0267-98-2884

10. 封筒の表に「電波天文学教授応募書類」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会にて行います。なお、外国籍の方の場合、法令に基づいて任期を定める場合があります。

## 国立天文台教官

1. 助教授 1 名
2. (1) 位置天文・天体力学研究系  
(2) 東京都三鷹市
3. 重力波天文学
4. 重力波による新しい天文学の創成を目指して、TAMA プロジェクトを推進し、レーザー干渉計のシステム統合や性能改良、関連する技術開発に指導的役割を果たす人を求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書、(2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む)、(3) 研究論文リスト、及び主要論文別刷、(4) 研究計画書、(5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先、(6) 他薦の場合には推薦書の他に、前記事項(1)~(5)の概要がわかる書類
8. 締切: 1997 年 5 月 30 日 (金) 必着。
9. (1) 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 小平桂一  
(2) 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台位置天文・天体力学研究系 藤本眞克  
TEL : 0422-34-3622
10. 封筒の表に「重力波天文分野助教授応募書類在中」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。

## 宇宙科学研究所教官

宇宙科学研究所では、下記の要領により教官公募を行いますので広く適任者の推薦、応募を求めます。

1. 募集人員 助手 1 名
2. 所属部門 宇宙科学企画情報解析センター
3. 専門分野 太陽物理学または太陽地球系物理学。
4. 職務内容 当センターでは、現在、宇宙科学研究所の科学衛星「あすか」「ようこう」、次いで「GEO-TAIL」「あけぼの」のサイエンスデータベース (国際的に公開) の構築を進めており、将来衛星についても同様の考えです。今回応募する助手には、これらのサイエンスデータベースの構築に意欲を持って取り組ん

でいただくと同時に、そのデータベースを用いた科学研究 (過去の経験は問いませんが、できれば、複数の分野) を進めていくことを期待します。なお、ワークステーション管理に関する予備知識は有しているものとします。宇宙科学企画情報解析センターは本研究所の計算機、ネットワーク、科学衛星データベース関連の研究および運用業務を遂行しています。

5. 着任時期 決定後、なるべく早い時期に着任されることを希望します。
7. 提出書類 (1) 略歴、(2) 研究歴、(3) 論文リスト、および主要論文別刷、(4) 研究計画書 (サイエンスデータベース構築に対する考え方を含む)、(5) 他薦の場合: 推薦書 2 通。自薦の場合: 本人について意見を述べられる方 2 名の氏名及び連絡先。
8. 公募締切 平成 9 年 6 月 30 日 (月) 必着
9. 宛先 宇宙科学研究所 庶務課人事係  
〒 229 神奈川県相模原市由野台 3-1-1  
電話: 0427-51-3911 (代表)  
問い合わせ先: 宇宙科学企画情報解析センター長  
向井 利典 (内線 2510)
10. 選考は宇宙科学研究所運営協議会において行います。応募者に適任者がいない場合、決定を保留することがあります。封筒の表に「助手応募 (推薦) 書類在中」と朱書きして下さい。

## 研究会・集会案内

### 重力波検出に関するシンポジウム

日 時: 1997 年 6 月 16 日 (月) ~ 6 月 18 日 (水)  
場 所: 東京大学田無キャンパス旧原子核研究所講堂  
世話人: 黒田和明、三尾典克、大橋正健  
講演締切: 1997 年 5 月 30 日 (金)  
申込法: 講演希望タイトルを e-mail か FAX で下記へ  
問合せ先: 国立天文台宇宙計量部門 大橋正健

TEL: 0422-34-3626 FAX: 0422-34-3793

e-mail: ohashi@nao.ac.jp

# 早川基金応募カバーシート

(本頁をA4に拡大コピー・記入して、応募用紙の最初に添付して下さい)

氏名	(会員番号： )		生年月日	19 年 月 日 ( 歳)
所属		身 分	大学院 (修士・博士) 課程 年 生	
援助希望の内容	(観測・国際共同研究・国際研究集会) その他 [ ]		研究生・学振 (PD・DC) (常勤・非常勤) 職員 [職名： ]	
渡航期日	年 月 日～ 年 月 日		その他 [ ]	
渡航期間：	渡航場所	渡航費見積金額： 円		
研究略歴				
渡航歴および旅費の出所：				
渡航の主旨：				
国際研究集会についての寄与：1. 口頭発表, 2. ポスター, 3. その他 [ ]				
連絡先		TEL	FAX	

**研究助成**

**日本天文学会早川幸男基金利用者募集要項**

日本天文学会 早川幸男基金（若手海外学術研究援助基金）内規に基づき、海外学術研究に対して旅費の援助を希望する者を募集（1997年度第2期）致します。

1. 援助金総額 年間約 120 万円（1997 年度）
2. 援助件数 年間数件程度
3. 募集対象期間 1997 年 7 月 1 日～9 月 30 日の間に日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わず既に渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。
4. 応募必要書類（A 4 紙に統一すること）  
 原本 1 部、コピー 5 部。但し (7), (8) についてはコピー不要。  
 (1) 応募用カバーシート（今月号前頁の応募用紙を A 4 に拡大コピーして使用する）  
 (2) 論文リスト  
 (3) 観測については、観測割当通知および観測提案の写しか、それに準ずるもの  
 (4) 国際共同研究については、渡航先の招聘状および研究計画の概要  
 (5) 研究集会参加については、当該研究会開催の主旨を説明する資料、プログラム、および応募者の寄与（口頭発表等）を証明するもの  
 (6) 大学院生の場合、研究指導者の意見書  
 (7) 航空運賃の見積書  
 (8) 関連研究論文の写し（一編）
5. 応募締切：1997 年 6 月 10 日（必着）
6. 決定時期：1997 年 6 月下旬
7. 応募書類送付先：

〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内  
日本天文学会 早川基金募集係

\* 早川基金内規（天文月報第 85 巻第 12 号参照）による援助対象資格は「日本天文学会会員で、原則として 35 歳以下の天文学研究者であって、この基金以外の海外渡航費（滞在費を除く）の援助を受けない者。」です。

1997 年度はこの後、9 月、12 月の 10 日締め切りで募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備をしてください。

**地球化学研究協会学術賞「三宅賞」**

1. 本賞は地球化学に顕著な研究業績をおさめた科学者に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞牌および賞金（30 万円）をそえます。
3. 本賞の贈呈は、1 年 1 件（1 名）とします。
4. 規定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由（400 字程度）、主な論文 10 編程度に略歴をそえて、協会事務所までお送り下さい。

**研究助成**

1. 研究助成は地球化学の研究者で、海外における学術調査研究などに参加する者、ならびに海外のシンポジウム等に出席し論文を発表する者に対して行われます。
2. 助成金は 1 件 10 万円とし、年に数件とします。
3. 規定の用紙に推薦候補者（各締切日において満 40 才迄とする）の海外調査に関しては、略歴、研究業績、調査地（国名、地域名）、調査目的・計画、推薦理由、同行者などを記入し、海外のシンポジウム出席については、略歴、研究業績、国際会議名（主催団体、開催場所、開催年月日）、論文題目、推薦理由等を記入して、協会事務所までお送りください。

三宅賞の贈呈および研究助成者の発表は、1997 年 12 月 6 日（土）、東京で行います。

申込締切日は、三宅賞は、1997 年 8 月 31 日

研究助成は、第 1 回締切 1996 年 8 月 31 日

第 2 回締切 1998 年 1 月 15 日

\* 申込用紙の必要な方は、日本天文学会事務室までお申し出下さい。

地球化学研究協会

〒 166 東京都杉並区高円寺北 4-29-2-217

電話：03-3330-2455（FAX 兼用）

編集委員	関口和寛（編集長）、末松芳法、田代 信、辻本拓司、中川貴雄、林 左絵子、平野尚美、宮坂正大
平成 9 年 4 月 20 日	発行人 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所 〒 162 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷
定価 700 円（本体 667 円）	発行所 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
電話（0422）31-1359（事務室）5488（月報・欧文編集）5487（FAX 専用）	振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のホームページ <a href="http://www.tenmon.or.jp">http://www.tenmon.or.jp</a>	